子育てママ気軽に

子ども増の堀江にサロン

子育て中の母親が自由に使えるコミュニティースペースが、大阪市西区に開設された。買い物の合間におむつ交換や授乳ができるほか、無料のカフェコーナーがあり、グループで使用することも可能。肩身の狭い思いをしがちな母親のニーズをくみ取り、子育てを後押しする。

11月に北堀江1丁目にオープンした子育てママサロン「グレイス」は広さ約70平方㍍。おむつ交換室と授乳室を備え、セルフサービスでコーヒーなどが味わえる。大きなホワイトボードとテーブルがあり、セミナーやワークショップを開くことが可能。子どもたちが遊べるスペースやおもちゃも準備してある。開設時間は平日午前10時から午後7時。

保険代理店業を展開してきた大田徹社長(39)は、子育て世代の顧客から悩みを聞く中でサロン開設を思い立った。カフェやセレクトショップが集まる「堀江」はおしゃれな街の代名詞。再開発が進む西区では2009～14年の5年間で0～4歳の子どもの数が3割以上増えたが、子ども連れや母親グループが気軽に立ち寄れる店は少ない。

今月もクリスマスツリーやリース作り、不要なおもちゃの交換会を実施。大田社長は「母親たちが気軽に立ち寄り、子育ての悩みが解消できるような場所にしたい」と話している。

子育て世代向けの交流スペースを開設した大田社長＝大阪市西区の子育てサロン「グレイス」

災いサル年に

道明寺天満宮がジャンボ絵馬

大阪府藤井寺市の道明寺天満宮は15日までに、来年のえと「申」にちなみ猿を描いたジャンボ絵馬に掛け替えた。

絵馬は高さ2㍍、幅2・4㍍で、上方浮世絵画家の長谷川貞信さん(69)が松竹梅とサルの親子をほのぼのと描いた。南坊城光興宮司(41)は「災いが去る年になってほしいです」と穏やかな1年を願っていた。

天満宮の梅園は約80種約800本。暖かい日が続き、例年なら1月中旬から2月上旬にかけて咲く花も香り始めた。南坊城宮司は「1970年に梅園を設けて以来、この時期の開花は記憶にない」と困惑していた。

大阪府藤井寺市の道明寺天満宮にお目見えした、猿を描いたジャンボ絵馬＝14日午後

大阪府市と連携強化へ

関経連会長

関西経済連合会の森詳介会長（関西電力会長）は14日の定例記者会見で、政治団体・大阪維新の会が圧勝した大阪府知事・市長のダブル選の結果を踏まえ、「大阪府市としっかり連携していきたい」と述べた。経済再生に向け、対話を進めていく考えだ。

森会長は、インフラ整備や産業競争力の強化など、現実的な課題が山積していると分析。知事と新市長に対し「議会と現実的な議論をして、関西経済の成長をけん引してほし

移転条例案を否

和泉市庁舎問題で市

老朽化した市庁舎を、現在地で建て替えるか人口が増加した新興住宅地に新築移転するかを議論している大阪府和泉市議会は15日、本会議で移転条例案を否決した。

地方自治法の規定で出席議員22人のうち、3分の2以上の賛成が必要だった。反対11月2

大阪市580万

芸助

大阪市にわの芸の各団体上限額を多は大阪80万3会は10

「い」と求
今月退
大阪市長
「発信力
れた能力
と評価。
大きな成
と指摘し
に合理的
ては具体
ミュニケ
きた」と